

基 本 調 査 票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 6 年 10 月 25 日

設置・運営主体	学校法人柴学園		
設置主体			
経営主体	学校法人柴学園		
事業所名 (施設名)	しおどめ保育園久喜	種別	地域型保育事業
所在地	〒 340-0214 埼玉県久喜市葛梅1-13-9		
電 話	0480-57-1222		
FAX	0480-57-1223		
Email	shiodome-kuki@gakuhou-shibagakuen.ac.jp		
U R L	https://www.gakuhou-shibagakuen.com		
施設長氏名	林 真奈美		
調査対応担当者	林 真奈美 (所属、職名： しおどめ保育園久喜 施設長)		
利用定員	19 名	開設年	令和 3 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
【保育理念】 ・豊かな心と感性を育てる 【保育方針】 ・子どもの主体的な活動として生活を保障する保育 ・子どもの自発的な活動として遊びを保障する保育 ・一人ひとりの特性に応じた保育 【保育目標】 ・やさしく思いやりのある子 ・心も体もたくましい子 ・自信を持って挑戦できる子			
開所時間 (通所施設のみ)	月～金 07：00-19：00 土曜日 07：30-18：30 延長保育 18：01-19：00		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定 員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	3	3	1	2	2
1歳児	8	9	1	8	3
2歳児	8	8	1	8	2
3歳児					
4歳児					
5歳児					
計	19	20	3	—	—
（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。					

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		8 人	
うち	保育士	7 人	保健師・看護師 0 人
	栄養士・調理員	1 人	その他（ ） 0 人
非常勤職員数		6 人	（常勤換算 3 人）
うち	保育士	4 人	（常勤換算 2.4 人）
	保健師・看護師	人	（常勤換算 人）
	栄養士・調理員	1 人	（常勤換算 0.4 人）
	その他（ 事務員 ）	1 人	（常勤換算 0.2 人）
（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。			
（2）前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 1 人	非常勤： 4 人
	退職	常勤： 1 人	非常勤： 2 人
（3）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		28.5 歳	（ 32.6 歳）
（4）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		1.8 年	（ 1.7 年）
（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。			

(保育所の場合)

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

0 人

【実習生の受け入れ】

・令和 5 年度における実習生の受け入れ数（実数）

社会福祉士 0 人

介護福祉士 0 人

その他 0 人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	138.81 m ²	
	児童1人あたり	7.31 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	33.14 m ²	
	児童1人あたり	1.74 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	☒ 1. はい ☐ 2. いいえ
	耐震	☒ 1. はい ☐ 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年 令和 3 年		

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・年度末に園評価をコドモンアプリのアンケートで実施。
- ・保護者参加行事(親子ミニ運動会)後にコドモンアプリでアンケートを実施。
- ・2月頃に個人面談及び見学会を実施。
- ・玄関に意見箱(しおどめホットチャット)を設置。
- ・送迎時(特にお迎えの時)に保育者と保護者と1対1で会話する。

【その他特記事項】

貴施設(事業所)の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

・園児は少人数の為、保育士が子ども一人ひとりと丁寧に関わり、家庭的な雰囲気の中、個々の年齢、発達に沿った細やかな保育を心がけています。また、子どもの“楽しい!”を共有し、保護者の方にもお伝えすることで、子どもたちはもちろん、保護者の方も安心してご利用いただけるよう努めています。

・安全に配慮しながら、近くの公園へ行ったり、園周辺を散歩したりして体を動かしています。また、手作り玩具やコーナー遊びを取り入れ、子ども主体の保育を行っています。

・給食、おやつは、栄養士がバランスの良い献立をたて、一人ひとりの発達に応じて、大きさや形状等を調整しながら園内で調理しているので、温かいまま提供できます。また、行事の際には子どもたちの好きなキャラクターや、可愛い動物、各行事に関わる形にデコレーションをした給食やおやつを提供し、子どもたちの嬉しそうな笑顔が見られます。2歳児クラスになると、夏野菜の栽培も行い、毎月の食育以外にも食に興味を持てるような活動を取り入れています。

・開園当初からICT化を進め、連絡帳や欠席等の連絡、手紙の配信、写真販売等、保護者の方との連携をスムーズに行っています。また、SNSでも日々の活動を配信し、保護者の方だけではなく、地域の方々にも保育園での様子を見てもらうことができるようにしています。その他、ICT化により職員の事務作業等の効率化ができ、その分子どもたちと関わる時間を増やすことができています。今年度から、職員のノンコンタクトタイムも取り入れ、働きやすい環境を作ることができるよう心がけています。

・お昼寝用布団のリースやオムツのサブスク等を活用し、毎日の持ち物を減らして、保護者の負担が軽減できるように努めています。

【第三者評価の受審状況】

- ・ 受審回数（前回の受審時期）

0 回 （平成 年度）